

【特集】パピーウォーカー

-  パピーからもらった、しあわせ。
-  全国のパピーウォーカーからの便り
-  盲導犬育成事業は、ボランティアの活躍に支えられています。
-  盲導犬ユーザーからのメッセージ
-  街で盲導犬に出会ったときは。
-  盲導犬は、こんな一生を送ります。
-  平成18年度 主な活動報告



パピーからもらった、
しあわせ。

2005年「愛・地球博」の舞台として有名になった愛知県長久手町。織田信長の次男信雄・家康連合と羽柴秀吉の合戦の舞台にもなった土地です。その今は静かな住宅街に、パピーウォーカーとして活動されている水谷さんのお宅を訪問しました。ご主人の隆さん、奥様の優子さん、隆宏くん（高校生）、悠美ちゃん（高校生）、大佑くん（中学生）の五人家族。そしてパピーのロディ（オス、5ヶ月）も。ちょうど21世紀が始まった平成13年にパピーウォーカーとなり、現在6頭目です。

【育児そのもの。】

さっそく奥さまに、パピーウォーカーに申し込まれた動機をおたずねしました。

「犬が好きで。警察犬の訓練士になりたかったくらい。パピーウォーカーは20年くらい前に新聞で知り、やってみたいと思っていました。でも育児などで忙しくて、10年後にやっと申し込めたんです」

盲導犬候補の仔犬を生後2ヶ月頃から約10ヶ月間、家庭で育てるパピーウォーカーとは、育児そのもの。三人のお子さんたちと同時進行では、さすがに荷が重すぎるでしょう。

「きまった時間に食事をあげて、午前と夕方にはお散歩。夜の町も経験させますよ。あとはシツケを重視するくらい。神経は使いますが、ペットと変わりません」

長女の悠美ちゃんも「一緒にいるときは、盲導犬になるとは考えなくて、楽しく遊んでる」のだそうです。



別れはつらいけど。

パピーウォーカーが活躍するのは、赤ちゃん犬がどんどん成長していく、最高に愛らしい時。そんな頃に一生けんめい育てるのですが、10ヶ月後には必ず別れの時がやってきます。

「毎回、見送るときはつらいから、いつも泣いてしまいます」

そんな役割なのに、続けられるのはなぜですかと聞くと、「正直なところは、このまま飼ってしまいたいと、毎回のように思います」と言った後で、「で

も、続けるのは、専業主婦だからという意味も大きいかも知れません。ボランティアを通じて、社会とつながってられる気がするんですよ。やはり盲導犬を育てるためには、ぜったい必要な事ですから」とおっしゃいます。

パピーを育てる心の内側は、複雑なものようです。

「別れは確かにつらいけど、盲導犬が不足してる現状を思うと、自分ができる内は続けていきたいですね」



パピーと旅を。

別れの一面はありますが、やって良かったと思うことは無数にあるそうです。

「家庭が明るくなりますし、犬を通して友だちがすごく増えましたよ」

パピーウォーカーにとって毎日の散歩は欠かせない日課ですが、散歩中にたくさんの人から声をかけられたり、犬や猫がいると人間同士のコミュニケーションもなごやかになりますね。

「それに、規則正しい生活をさせないといけないので、こちらの生活も規則正しくなります。規則正しく食べて、楽しく散歩をしていたら、前は腰痛があったんですけど、なくなっちゃいました」

パピーウォーカーの健康効果とは、予想外でした。

「一頭目は、ものすごい神経質になってましたね。パピーウォーカー同士のつながりもなく、相談できる先輩もいませんでしたが、今では情報交換もできるようになって、毎日が楽しい」

ほかにパピーウォーカーの楽しみは、どんなことでしょうか。

「うちでは毎年、パピーを連れて旅行に行くようにしてます。預かるごとに、かならずみんなで遠出して、思い出をつくります」



お話をうかがっていて、だんだんパピーがうらやましくなってきました。こんなすてきなご家族に大切にされて、旅まで楽しんで。

「海や川で泳がせたりもするんですよ。でも、最初は泳げないんですね。犬は水泳じょうずというイメージがあったので、初めは、アレ、こんなのっ？て。何度か行くと、うまくなりますね」

役に立てる、よろこび。

ペットを飼いたいとは思わなかった？と悠美ちゃんにたずねてみました。

「一頭いなくなって、次のパピーが来るまでさびしいから、ほかの犬を飼おうと言ったこともありましたが、でも、盲導犬になったって知らされると、ああ、すごいと思う。福祉の役に立てたんで」

優子さんも「ペットも考えましたが、やはりボランティアという役割が強く意識にあって。犬と関わることで、誰かの役に立てるなら、その方がいいかなって」とふり返ります。

「パピーを育てることで、生きものを心をこめて世話することや、しつけると言うこと、そして福祉について考えることの大切さも、子供は学んでいると思います」

盲導犬という役割をもつ仔犬を育てることで、人間の心も育つ。そんなパピーウォーカーの経験が、未来の福祉にゆたかな希望を広げていってくれますように。

今回の取材に快く応じてくださった水谷さんご一家に、あらためてお礼申し上げます。



**THE VOLUNTEER FRONT
"PUPPY WALKER"**

水谷さんがこれまでに育ててきたパピー



1頭目：ブライト



2頭目：セピア



3頭目：ヴォイス



4頭目：ニール



5頭目：チェス



6頭目：ロディ

**THE VOLUNTEER FRONT
"PUPPY WALKER"**



□□□-□□□□

北海道盲導犬協会

坂井幸江さん



◎パピーの名前

ファディ (オス、3ヶ月、イエロ
ー)

◎性格

人懐こく、ちょっとやんちゃ

◎パピーウォーカーを希望した動機や感想

家族が犬中心に集まり、笑顔が絶えません。散歩していても気軽に声をかけられ、お友だちも増えました。子どもたちが夏休み研究で盲導犬について勉強してくれたり、パピーウォーカーのことでインタビューされたり、委託式や終了式と一緒に参加してくれたり。ファディで5頭目ですが、パピーウォーカーも何回も続けると、子育てが上手になっていくようですね

◎注意していること

和室に入らない、テーブルにのらないなど、いくつかガマンさせることも大切。

◎心配や不安、その他

特になし

□□□-□□□□

栃木盲導犬センター

石川みどりさん



◎パピーの名前

ピーター（オス、6ヶ月、イエロー）

◎性格

明るい子
供好きの甘えん坊

◎パピーウォーカーを希望した動機や感想

パピーウォーカーは子どもの頃からの夢でした。実際に育ててみて、犬のかわいさがより強くわかります。仔犬はやんちゃで、心配することも多いですけど、6歳の長男が主人に叱られたとき、ピーターになぐさめてもらったりするのを見ると、やって良かったと思います。何度もくじけそうになりましたが、犬の成長を肌で感じることで、私たちの勉強にもなっています。

◎注意していること

犬の健康には特に注意しています。散歩では、拾い食いさせないようになど。

◎心配や不安、その他

雨の日の散歩、障子やふすまやガラス戸がいつ割れてしまうか……。

□□□-□□□□

日本盲導犬協会

馬淵雅生・修子さん



◎**パピーの名前**
フーラ (メス、2ヶ月、ブラック)

◎**性格**
活発で甘えん坊

◎**パピーウォーカーを希望した動機や感想**
子どもたちが犬を飼いたがり、色々調べる内にパピーウォーカーを知りました。犬を育てることで、誰かの役に立てるなら、と思って希望しました。障害者について考えることが増え、たくさんの人と知り合うこともできました。テレビなどではよくパピーとの別れが描かれて、辛いと思われがちなようですが、育てる10ヶ月間はほんとうに楽しく、こちらの方が得ることが多いですね。

◎**注意していること**
しつけに対して、家族全員で協力しあい、一貫性を保つように気をつけています。

◎**心配や不安、その他**
ケガや事故に注意していますが、心配です。
大切な盲導犬候補の子犬なので、責任を感じます。

中部盲導犬協会

浅井康行さん



◎パピーの名前

エルム (メス、5ヶ月、イエロー)

◎性格

明るく穏やか。でも小心者で新しい音や場所が苦手

◎パピーウォーカーを希望した動機や感想

ある日、子供を叱っていると、エルムが私と子供の間に来てジーツと私を見つめ、まるで「お母さん、もうそんなに怒らなくていいんじゃない？」と喋っているようでした。怒りはすっかり冷めてしまいました。家族で仔犬を育てることで共通の目標と話題ができ、親子の会話が弾むようになり、兄弟ケンカも少なく和やかになりました。毎日散歩に出かけるので健康的で規則正しい生活にも。得られるものもたくさんあるボランティアです。

◎注意していること

健康と運動中にケガをさせないように注意しています。

◎心配や不安、その他

エルムの幸せと健康です。盲導犬あるいは家庭犬になっても元気で幸せに暮らすことができるよう祈っています。

□□□-□□□□

関西盲導犬協会

竹本佳代さん



◎**パピーの名前**
キャスパー（メス、2ヶ月、ブラック）

◎**性格**
おてんばで明るい

◎**パピーウォーカーを希望した動機や感想**
最初の動機は、やはり犬が好きだったこと。多くの仔犬に接することができるのが、とても楽しみです。犬を育てていて感じるのは、可愛いのひとつ言。盲導犬になった犬を見たときは、感動します。預かってほんとうに良かったと思います。いたずら犬との生活は思い出が多いです。毎日のたたかいを思い出しては、夫婦の間でいつまでも笑いのタネになっています。

◎**注意していること**
生活のリズム。あせらないこと。

◎**心配や不安、その他**
なし

□□□-□□□□

日本ライトハウス

松永恵子さん



◎パピーの名前

デリカ (メス、8ヶ月、イエロー)

◎性格

素直でおとなしい。人がくると必ず尾をふる甘えん坊。

◎パピーウォーカーを希望した動機や感想

犬を飼おうと考えたとき、主人が「どうせなら、人の役に立つ形で」と申し込みました。

以前から盲人の方の介助ボランティアをしていて、盲導犬の必要性を認識していました。仔犬は、人間の赤ちゃんを育てるのと同じですね。手をかければかけるほど応えてくれます。育てることの難しさと、それ以上に喜びが与えられます。デリカと一緒に今を目いっぱい楽しみたいです。

◎注意していること

目いっぱい可愛がる。トイレさせてから散歩に行く。朝夕のグルーミングと健康チェックを。

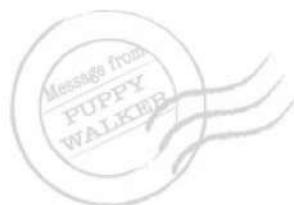
◎心配や不安、その他

甘えん坊ですが、一生懸命愛情を注いで育て、訓練に耐えられるデリカになって欲しい。

□□□-□□□□

兵庫盲導犬協会

坂田充範さん



◎**パピーの名前**
クインシー (オス、14ヶ月、ブラック)

◎**性格**
やんちゃだけど素直、人が好き

◎**パピーウォーカーを希望した動機や感想**
盲導犬とは、パピーウォーカーとは、どんなものなのかを知りたかった。もちろん家族全員が犬好き。盲導犬になったという知らせをいただくと、やはりうれしいですね。唯一困るのは、長く家を空けられないこと。クインシーとは、一緒に小豆島に旅行したのが、いちばん楽しい思い出です。パピーウォーカー同士が意見交換したり、交歓できる場が、もっとあればいいなと思います。

◎**注意していること**
自然体でいること、ケガをさせないこと

◎**心配や不安、その他**
パピーのすべてが盲導犬になれるわけではないことが残念です

□□□-□□□□

九州盲導犬協会

松隈千代美さん



◎**パピーの名前**
キャンディ (メス、11ヶ月、イエロー)

◎**性格**
甘えん坊で臆病

◎**パピーウォーカーを希望した動機や感想**
家族でできるボランティアなので。パピーが来て笑いと話題が増え、家族がひとり増えたように賑やかです。家に来た当初は、夜泣きがひどかったとか、水が苦手だったので練習にと海へ連れて行ったら、どんどん入って行ってしまい、あわてて引き戻したことが印象に残っています。育てているつもりが、こちらが支えられているように感じることもあります。

◎**注意していること**
大事な仔犬を預かっているという意識を忘れないこと。

◎**心配や不安、その他**
間違ったしつけをしていないか、長所をつぶしていないか。

盲導犬育成事業は、ボランティアの活躍に支えられています。



THE VOLUNTEER FRONT
"PUPPY WALKER"

大切なパピーウォーカーの役割。

盲導犬になる可能性をもつ仔犬たちは、生後2ヶ月頃から約10ヶ月間、一般の家庭でたっぷり可愛がって育てられます。その役割を受けもつボランティアが、今回特集した「パピーウォーカー」といいます。

なぜ、一般の家庭で育ててもらおうのかというと、仔犬たちが人間の優しさや温かさを感じ取れるようにするためです。この時期は、規則正しい生活習慣や、やってはいけないことなどしつけられ、たっぷり可愛がって育ててもらいます。そうして、人間との愛情を育むことで、本格的な盲導犬訓練にのぞむ基本を身につけるのです。

そういう意味でパピーウォーカーは、盲導犬訓練のスタートとなる重要なボランティアだといえます。全国各地の盲導犬協会では、随時、パピーウォーカーの募集を実施していますので、関心をもっていただいた方は、お住まいに最も近い施設に、ぜひお問い合わせください。

盲導犬を支える、さまざまなボランティア。

盲導犬による視覚障害者福祉に関して、パピーウォーカーの他にも、たくさんのボランティアが活動して、地域の福祉向上のために協力していただいています。

育成だけでなく、盲導犬になる素質をもつ繁殖犬を家庭で預かり、盲導犬候補の仔犬を出産させるお手伝いをする「繁殖犬ボランティアさん」、盲導犬になれなかった候補犬を家庭で育てる「キャリアチェンジ犬ボランティアさん」、盲導犬として活躍して引退した後、家庭犬としてお世話をしていただく「退役犬（老犬）ボランティアさん」など、さまざまなボランティアがあります。

また、直接犬には関わりませんが、他にもたくさんのボランティア活動があり、盲導犬育成事業を支えています。募金・寄付という行為も重要なボランティアのひとつです。

盲導犬育成は、市民のみなさまの協力なしでは成り立たない事業といえます。現在も、盲導犬を必要とする視覚障害者約7800人に対し、盲導犬実働数は約950頭と、大幅に不足しています。これからも、ますます温かいご協力をお願いいたします。



みなさん、
ご協力をお願ひします。



Duet Column [デュエットコラム]

盲導犬のいのちのこと。

盲導犬について度々たずねられることに、「盲導犬は長生きしないのですか?」という質問があります。いつも働いているから、ストレスがたまると思われているようですが、そんなことはありません。たとえば、東京農工大学の林谷秀樹助教授が、2002～2003年の一年間に約3200頭の家庭犬（ペット）を対象として寿命を調べたところ、平均11.9才という結果になったそうです。当連合会でも、加盟8団体の協力で盲導犬の平均寿命を算出しました。調査は盲導犬と盲導犬をリタイアした犬447頭を対象とし、そのうち犬種と性別不明の34頭をのぞいて計算したところ、平均寿命は13.0才でした。14・15才が約30%ともっとも多く、12才以上がおよそ70%を占めています。17才（最高齢）も5頭いました。盲導犬は短命というのは、ただのウワサだということがわかります。退役後も退役犬ボランティアの家庭や各団体の施設で、のんびり老後を過ごしているんですよ。

盲導犬ユーザーからのメッセージ

●● ウールは、町のアイドル。

..... 島村冬子



ウールと私の二人暮らしが始まって10ヶ月が過ぎた。 体育館、公民館、市役所、病院、どこへでも、好きな時間に二人で出かける。 先日は料理屋さんにも行った。新年会で。 一度は断られたけど、「法律でどこでも行けるようになっているはずですけど」と言ったら、「どうぞ」とひと言。店でのウールが立派だったので、帰りは「また来てね」と笑顔いっぱい送ってもらった。ウールはどこへ行っても笑顔で迎えてもらう。私は、いつも鼻高々。 最初の頃は「おう、道路の真ん中だぞ。もっとこっちへ来い」と声を掛けられたり。「こっちって、どっち？右、左？」と私。いつも誰かが見ていてくれる。今は「慣れたな。すごい盲導犬は」と誰ともわからない人から声が掛かる。カラオケに4時間も付き合っている。「何だって歌えばいいよ。私はマッサージをしてもらうから」と、マッサージ師のおじさんの側に寝そ

べっている。 この狭い町で初めての、たった1頭の盲導犬。ウールは、今では町中のアイドルだ

●●● 盲導犬ワトソンと歩いて。

.....菊池糸子

盲学校の先生の勧めで、日本盲導犬協会仙台訓練センターの短期リハビリテーションに参加したのは19歳の夏でした。そのとき調理や白杖歩行、点字の勉強のほかに、初めて盲導犬との体験歩行をしました。歩行速度が思ったより速くてびっくりしました。それまで白杖での雪上歩行が困難だったことと、自立して両親への負担を軽くしたいとの思いが、盲導犬と歩ききっかけになりました。ワトソンとの共同訓練を06年9月に終え、手ごたえを感じたので就職し、11月から親元を離れ独り暮らしをはじめました。以降、1kmの道のりを40分かけて通勤しています。今の課題は通勤時間の短縮です。ワトソンの集中力を高めることが結果につながると、日々努力しています。仕事は、指定通所介護事業所でのマッサージ。身体の緊張を和らげることを目的に、多い日は10人を担当します。事業所も盲導犬を抵抗なく受け入れてくれ、今ではワトソンを待っている人がいるほどの人気者です。ワトソンとの歩行や生活のリズムなど、大変だと思うこともありますが、その分楽しい毎日です。ワトソンと健康で安全に暮らしたい。いつかワトソンと沖縄旅行に行きたいと思っています。





「住宅、職場、学校における補助犬の同伴状況に関するアンケート調査
(全国盲導犬施設連合会)」から

2006年に、補助犬法が発布された後の盲導犬同伴の状況を調べるために、全国の盲導犬ユーザー665名を対象にアンケート調査を実施しました。回答の概略を、簡単にご報告します。

※回答総数 303人/住居については内賃貸住宅等居住者102人



現在の住まいに入居するにあたって、トラブルはありましたか？

あった
10人

なかった
80人

不明
12人

トラブル一例

- 視覚障害者と盲導犬の二人暮らしを認めるところがほとんどなかった。
- 自治会から苦情を言われ、県の窓口や協会に話したら、自治会に指導がなされて解決した。
- 前例がないといわれた。補助犬法を説明して食い下がって、ようやく入居できた。



入居後にトラブルはありましたか？

あった
12人

なかった
74人

不明
16人

トラブル一例

- 排泄について、水を流すなど色々対処しているが、苦情をいわれる。
- ペット禁止マンションに入居したが、ペットが敷地やエレベータなどで排泄し、誤解を受けることがある。
- 入居当初、毛が飛ぶとか臭いといわれた。
- 5年経ち理解されて、今では盲導犬を住民の人たちもかわいがってくれる。

Q 通勤・通学に盲導犬を同伴してトラブルはありましたか？

あった
9人

なかった
56人

不明
42人

トラブル一例

- 盲導犬に声をかけたり触れたりされる。電車内で「混んでるのに犬など連れて歩くな」といわれた。
- バスやタクシーの乗車拒否にあった。勤務先でも食堂に入れてもらえず、一人別の部屋で食事している。
- 歩道を走る自転車がぶつかったりして怖い。

Q その他、補助犬受け入れへの意見は？

- 未だに、飲食店などで入店を断られる。
- 主たる方の認識不足や犬嫌いの場合は受け入れられるのは困難。もっと社会的な認識を深める活動が欲しい。
- 乗り物を利用するとき、周りの乗客の人に「いやだわ」といわれたり、不愉快そうな態度をとられることがある。
- 視覚障害者の就労は厳しいので、もっと国にも考えて欲しい。
- 盲導犬の取得にあたり、所得の保証がないので困っている。
- 多くの方が「かわいい」と仕事中の盲導犬に触る。盲導犬についての理解を広めて欲しい。

街で盲導犬に出会ったときは。

ハーネスをつけているときは、作事中です。

ハーネス（胴輪）をつけている盲導犬には、声をかけたり、口笛を吹いたり、なでたり、気を引くようなことはしないでください。気がちると、安全に盲導犬ユーザーを誘導する仕事ができなくなることがあります。



健康管理を考えて、
ドッグフードしか
食べないんだよ。

作事中の盲導犬には、食べ物を与えないでください。

盲導犬の食事時間はきちんと決まっています、盲導犬ユーザーとともに規則正しい生活をしています。これはお互いの信頼関係と盲導犬の健康を保つためにとっても大切なことです。かわいいと思っても、ぜったいに食べ物をあげたりしないでください。



何かあったら
盲導犬ユーザーに
声をかけてね。

ハーネスには、触らないでください。

盲導犬ユーザーはハーネスによって、盲導犬のようすや道の状況を確認します。ハーネスはお互いをつなぐととも大切な道具です。ハーネスに触られると、盲導犬ユーザーも盲導犬も判断を誤るおそれがありますので、ハーネスにはぜったいに触らないようにしてください。

どうぞ、あたたかく見守ってあげてください。

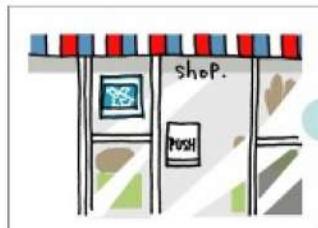
盲導犬は特別な訓練を受けていますから、吠えたりかんだりすることはありません。しかし、ときには安全のためや周りに迷惑をかけないために叱らなければならないこともあります。そんなとき、いちばんつらいのは盲導犬ユーザーです。犬が苦手な方も、大好きな方も、あたたかく見守っててください。



作事中は
気が散らないように、
そっと見守ってね。

補助犬OK！の気持ちは、ステッカーで表示を。

全国盲導犬施設連合会では、身体障害者補助犬法の施行にあわせて、盲導犬だけではなく介助犬も聴導犬も受け入れるという意味を表示していただくため「補助犬同伴可ステッカー」を作成しました。本ステッカーは1枚25円にて頒布しています。街中のあらゆる場所に温かい心を伝えるために、どうぞご利用ください。

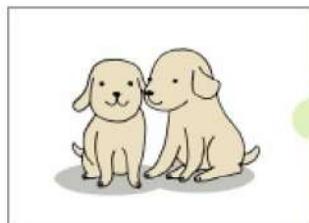


街中に、
このステッカーが
増えていきますように。



1. 誕生

国内で計画的に繁殖したり、海外から優秀な血統の仔犬を購入します。



生まれたときは、
ふつうの可愛い
仔犬だよ。

2. 生後2ヶ月頃

パピーウォーカー（仔犬育成ボランティア）の家庭に預けられ、愛情をこめて育ててもらいます。この時期に人間との深い愛情と信頼関係を育まれます。

3. 1歳の頃

パピーウォーカーのもとから、盲導犬訓練センターに入所。ここで約10ヶ月間の訓練を行います。その間に盲導犬としての適性を評価します。すべての訓練に合格した犬だけが、その後、盲導犬使用希望者との4週間（代替えの時は2週間）の共同訓練に進みます。



パピーウォーカーの
お家で、
元気に暮らすんだ。

4. 訓練所卒業

盲導犬使用希望者との4週間の共同生活の中で、互いに共に歩く技術を学び、信頼を築きます。この期間は、人間も犬も一緒に汗を流して努力する共同作業。お互いの存在を認め合い、パートナーとしてのきずなを結んで、一緒に卒業します。



ちゃんとできると、
ほめられるから、
楽しいね。

5. 現地訓練

盲導犬ユーザーとなった視覚障害者の実際の生活エリアで、歩行指導員が同伴してさらに訓練を行います。歩行の安全確保のために欠かせない訓練であり、盲導犬もこの期間に自分が主に活躍する場の地理や環境を知ります。

6. 共に歩く

一人前の盲導犬として、視覚障害者のパートナーとして、共に生活します。ユーザーと盲導犬は、互いに互いを必要とする深い信頼で結ばれた、文字通りの伴侶として暮らします。10～12年間、盲導犬として活躍します。



ボクたちは、
パートナーといつも
一緒なんだよ。

7. 引退

盲導犬は、視覚障害者と犬自身の安全のために、約10～12歳ごろで引退します。その後は退役犬ボランティアの家庭か訓練施設でのんびり老後を過ごします。



全国盲導犬基金への募金にご協力をお願いいたします。



全国で盲導犬を必要とする視覚障害者7,800人（推計）に対して、盲導犬の実働数は約950頭です。皆さまからお寄せいただいた募金・寄付は、全国盲導犬施設連合会に加盟する8施設に分配され、視覚障害者の積極的な社会参加の一助とするために、盲導犬育成に温かいご協力をお願いいたします。各地での盲導犬育成・普及に役立てられます。

[>>寄付・募金についてはこちら](#)

主な活動報告

盲導犬育成事業にご理解とご支援誠にありがとうございます。2006年度も補助犬使用者と共に「補助犬法の見直し」のための署名活動や要請行動を行いました。補助犬法施行後、盲導犬に関心を寄せてくださる方が増え、理解が深まっています。今後とも視覚障害者が暮らしやすい環境づくりに皆様のご協力をお願いします。

「盲導犬デモストレーション」活動を、全国40カ所で行ないました



今年度も盲導犬支援企業・団体のご協力を得て「盲導犬デモストレーション」や企業の職員の方への講習会等を実施してきました。全国で活動している盲導犬は952頭。盲導犬を知ってもらう大事な機会ですので積極的に取り組んでいます。

盲導犬普及のための広報誌の発行



「デュエット」15号発行（年1回4月）。「盲導犬Q&A」を特集しました。募金箱に備え付け、自由にお取りいただいています。

- 季刊誌「盲導犬情報」49～52号発行。主に補助犬法見直しの動きや、アメリカ「盲導犬ユーザーの会」が自国の盲導犬学校に対する調査報告書（5回連載）を取り上げました。



「補助犬法」の見直しを求めて署名活動



補助犬使用者の団体と協力して署名活動を行い、11月14日「議員の会」へ10万署名を提出しました。「住居、職場（学校）においても補助犬の受入を義務化してほしい」と補助犬法の見直しを要望。



「盲導犬体験歩行会」を実施



視覚障害者に盲導犬との歩行を知ってもらうために、加盟8施設の協力を得て視覚障害者を対象に「盲導犬体験歩行会」を全国8力所で実施しました。



盲導犬訓練士研修会の開催

加盟施設の盲導犬育成に携わる職員を対象に、各施設の協力で研修会（初任者、中堅職員、中間管理職）を開催。職員の知識・技能の向上と相互交流をはかった。



次の調査を実施

- 盲導犬の寿命の調査、ペットに比べ約1年の寿命が長かった。
- 盲導犬使用者の住居及び職場（学校）における受入に関する調査（受入の義務化を要求していくための実態調査）
- 自治体の盲導犬事業への取り組み状況の調査（4～5年に1回実施）



盲導犬受入の促進

- 盲導犬受入ポスターの作成と配布。
- 補助犬受入の「同伴可ステッカー」等の作成と配布。

都道府県別の盲導犬の実働数は952頭

(2005年3月31日現在)

北海道	32	栃木県	16	新潟県	24	三重県	11	鳥取県	9	福岡県	11
札幌市	22	群馬県	6	富山県	8	滋賀県	10	島根県	8	福岡市	5
青森県	2	埼玉県	45	石川県	25	京都府	9	岡山県	16	北九州市	5
岩手県	15	さいたま市	8	福井県	5	京都市	9	広島県	22	佐賀県	8
宮城県	6	千葉県	30	山梨県	10	大阪府	35	広島市	10	長崎県	7
仙台市	3	千葉市	2	長野県	30	大阪市	20	山口県	13	熊本県	18
秋田県	14	東京都	79	静岡県	37	兵庫県	44	徳島県	7	大分県	11
山形県	3	神奈川県	31	愛知県	20	神戸市	14	香川県	7	宮崎県	13
福島県	11	横浜市	21	名古屋市	16	奈良県	13	愛媛県	16	鹿児島県	19
茨城県	18	川崎市	5	岐阜県	13	和歌山県	10	高知県	9	沖縄県	6